

◎「ウクライナ支援」 News Letter(37)

2025年5月22日

ミッション・宣教の声

主にある皆様へ

いつも主にあつて、お祈りくださり感謝します。ウクライナ情勢、恐ろしい戦争が今も続き、停戦、停止にはまだまだ至っておりません。どうぞ祈り覚えてください。

昨日、船越宣教師からメールが入りましたので、シェアさせていただきます。厳しいウクライナ情勢下で、忠実に主様に仕えている船越宣教師夫妻を覚えてください。そしてオデーサ・バプテスト教会はじめ、多くの主様にある兄弟姉妹を祈り覚えて下さい。

船越宣教師ご夫妻は6月20日から8月4日まで、宣教報告のために日本に一時帰国されます。

黒田 禎一郎

敬愛する

主にある皆様へ

いつも、主にあつて祈り、お支えくださり御礼を申し上げます。

今月もウクライナをめぐる情勢は大きく動きました。そしてウクライナは今も非常に厳しい立場に置かれています。4-5月の一連の動きで改めて明らかになったことは、ロシアは戦争をやめる気がまったくないということでした。「全面侵攻開始以来最大規模の空爆」、というニュースを何度も見ることになるほど、ロシアによる容赦のないミサイル・ドローン攻撃がウクライナ全土で続いています。

欧米の圧力によって「30日停戦」のための交渉が行われようとしたのですが、ロシア側は、交渉するためには「一切の前提を設けないで」ということを条件としました。しかし、その意味するところは「ロシアがすでに併合を宣言したウクライナ四州とクリミアをロシアの領有であることを前提とすること、ウクライナはNATOに加盟しないことを

約束することなどが、「前提」となっており、ウクライナがとても受け入れることができないものです。

5月16日にイスタンブールで行われたウクライナ・ロシアの代表団による協議の場で、ロシア側代表のメジンスキー氏はウクライナ代表団に対して「ロシアはどれだけ長くても戦う用意があるが、ウクライナはどれくらい戦い続ける覚悟があるのか。」「今すぐに四州からウクライナ軍を撤退させなければ、失うのは四州ではなく六州になるぞ」などと発言（恫喝）し、交渉は決裂しました。その後に行われたトランプ・プーチン電話会談においても、プーチン氏は「30日停戦」を拒否、それに対してトランプ大統領は「それなら、アメリカは停戦交渉の仲介から手を引くかもしれない」と発言し、それが何を意味するのか、ウクライナは最悪の事態になることも視野に入れつつ、固唾を飲んで状況の行方を見守っています。

そのような中で、4年目となるこの戦争状態の中、人々の疲労感、焦燥感、閉塞感、絶望感はピークに達しつつあることをいろいろな場面で感じるようになっていきます。主がこの地に正義と平和をもたらしてくださることを切に待ち望んでいます。ウクライナを覚え続け、祈り続け、支え続けてくださっているみなさまに本当に心から感謝をしています。

5月18日（日）バプテスマ式を行うことができ、二名の女性（リュバ、エレナ）がバプテスマを受けました。今回バプテスマを受けた二人は、ともに第二次世界大戦開始の前に生まれました。ソ連が2000万人以上の犠牲を出した戦争を幼少期に体験し（エレナさんは戦争でお父さんを亡くされた）、1991年にはソ連の崩壊を体験し、新たに祖国となったウクライナが今は全面侵攻を受けて国家存亡の危機にある中、HOPE オデッサを通して私たちの教会に導かれました。

二人は礼拝に毎週集い、聖書学びグループにも参加し、明確な信仰告白をもってバプテスマを受けました。それは私たちにとって本当に大きな喜びでした。その他にも信仰告白はできているのですが、バプテスマを受ける決心には踏み出せないでいる人々も数名います。バプテスマを受ける人々が続けて起こされるようにお祈りください。5月11日（日）母の日礼拝を行いました。勇貴がメッセージをし、用いられました。多くの母親たちが息子たちを戦場に送り出しているこの状況の中で、お母さんたちの心が守られ、子どもたちが守られるように、また、今この戦時下で子育て真っ最中のお母さんたちの祝福を祈りました。

2023年から、市民団体「戦没兵士家族の会」とともに、戦争で息子・夫を失った女性たちを励ますイベントを行ってきました。この団体は2014年に始まったドンバス戦争

で戦死した兵士の家族の会です。今回、2022年から始まった全面侵攻で戦死した兵士たちの家族の会とも協力関係を持つことになり、その会に属する母親、妻たちを励ます活動することとなりました。6月8日に第一回目を行います。この会が祝福され用いられるようにお祈りいただければ感謝です。

ウクライナでは6月1日は「子どもの日」で、今年はちょうど日曜日です。その日「神の子どもとされるために」、というテーマでメッセージ(真人)を語ります。礼拝の後、子どもたちのためのイベントも計画しています。祝福をお祈りください。引き続き、HOPE ソルジャーズ(病院での負傷兵への訪問、前線の兵士たちへの支援の働き)、HOPE ニコラエフ、HOPE ヘルソンの働きが祝福され、用いられるようにお祈りください。(5月25日、ヘルソン教会オレグ牧師が私たちの教会で証とメッセージをしてくれます。実は先週も彼らの車はヘルソン市内でドローン攻撃を受けました。想像を絶する危険の中で働きを続けているオレグ牧師ご家族が守られるように、続けてお祈りください。)日曜礼拝では引き続き「福音とは何かシリーズ」を学んでいます。水曜集会では5月の末まで「ダニエル書シリーズ(今回は6章までを学びます)」を続けています。夏の間(6-8月)の水曜集会では「ヨシュア記(勇貴が担当)」を学びます。

オデッサ教会が守られ、さらに前進することができるように、どうぞ続けてお祈りください。皆様のお働きの上に、主の祝福が豊かにありますように、心から祈っています。

船越真人・美貴

* * * * *

祈りの課題

1. 「ウクライナ・ロシア戦争」が停止・終息しますように
2. 北朝鮮兵士、中国人兵士が戦火に巻き込まれる中、戦争犠牲者が最小限にとどまるように
3. 苦難の中で、キリストの福音が宣べ伝えられますように
4. 教会(集会)指導者に、神の助けと導きがありますように
5. 日本からの支援献金が豊かに用いられますように。

※ 「ミッション・宣教の声」の オンライン献金先は次です。

<https://vomj.jp/free-donation/>